

第41回 日産童話と絵本の グランプリ



◇童話『春風の魔法使い』 作者：紫野(しの) 絵：ちばみなこ

◇絵本『うらがわともだち』 作者：河原久美子

「日産童話と絵本のグランプリ」は、一般財団法人大阪国際児童文学振興財団が主催するアマチュア作家を対象とした創作童話と絵本のコンテストです。才能ある新進作家の育成をサポートするとともに、子どもたちに良書をお届けすることを目的とし、これまで41年間で77作品を出版しました。日産は、社会貢献活動を通じて、次代を担う子どもたちへの支援に一貫して取り組んでおり、同グランプリに第1回（1984年）から協賛しています。

日産は、第1回のグランプリから、累計で29万冊以上の出版作品を国内外の図書館や学校等に寄贈してきました。今回も国内では各都道府県の図書館と同社の事業所近隣の保育園や幼稚園などに寄贈し、海外においても、同社の事業所周辺の日本人学校や日本語補習校に寄贈する予定です。



2026年1月30日（金）日産自動車が長年にわたり取り組んできた文化支援活動「日産 童話と絵本のグランプリ」における童話・絵本の出版と寄贈活動の趣旨に賛同し、愛媛県立図書館にて寄贈式を実施しました。「日産 童話と絵本のグランプリ」は、一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団が主催するアマチュア作家を対象とした創作童話と絵本のコンテストです。日産自動車は、同グランプリに第1回（1984年）から協賛を続けることで、新しい才能を支援し、次代を担う子どもたちに魅力あふれる童話や絵本を届けています。

そして、今回の寄贈式については、愛媛日産スタッフの想いから生まれました。

日々、クルマを通して地域のお客様と向き合うスタッフにとって、今回の寄贈は「地域や未来とつながる時間」でもありました。単に本を届けるのではなく、“物語と出会う体験”そのものを届けたい——そうした想いを、準備から当日まで一つひとつの行動に込めました。子どもたちが本と自然に出会える環境づくり、未来世代の心の豊かさに寄り添うことを、地域企業としての大切な役割の一つと考えています。



今回寄贈した童話・絵本については、童話・絵本各 30 冊 計 60 冊が愛媛県立図書館を介して、県下 30 か所に配布されております。また、愛媛日産各ショールーム内キッズコーナーにも設置しています。待ち時間のひとときや、ご家族でショールームを訪れた際に、お子さまたちが自然に本に触れ、物語の世界を楽しめるような環境づくりを目指しています。どなたでも自由に手に取ってお読みいただけます。

愛媛日産はこれからも、人に寄り添い、地域の未来を豊かにする取り組みを続けてまいります。